

2011年度

科目名	社会調査法A		
担当教員	井上 徹		
配当	人社2	コード	12052
開期	前期	講時	月曜日2限
		単位数	2
授業テーマ	社会現象を科学的に探求する		
目的と概要	社会調査を行なう上に必要な知識と技術を修得することを目的とする。社会調査法Aは、様々な社会調査について紹介し、そのなかの質問紙調査に焦点を当て、テーマの設定、調査項目の正しい作り方を解説する。		
成績評価法	平常点(10%) + レポート(30%) + 筆記テスト(60%)		
テキスト	酒井隆 2003 『実務入門 図解アンケート調査と統計解析がわかる本』 ミネルヴァ書房		
参考書	大谷信介、後藤範章、永野武、木下栄二、小松洋 2005 社会調査へのアプローチ—論理と方法(第2版) ミネルヴァ書房		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	Excel を用いた統計的な処理の演習を頻繁に行う。休むと分からなくなるので、休まないように。 前時までの内容を確実に理解したうえで、次の授業に臨むこと。またテキストの当該箇所をあらかじめよんでおくこと。		
講義計画			
1. 社会調査とは何か (1)	社会調査としての3つの条件		
2. 社会調査とは何か (2)	いろいろな社会調査		
3. 社会調査の設計 (1)	調査プロセスと調査企画		
4. 社会調査の設計 (2)	調査問題、理論仮説、作業仮説		
5. 調査票の作成 (1)	調査項目の作成		
6. 調査票の作成 (2)	ワーディング		
7. サンプリング (1)	母集団と標本		
8. サンプリング (2)	ランダムサンプリング		
9. サンプリング (3)	標本数の決定		
10. 様々な調査方法 (1)	面接調査の実際		
11. 様々な調査方法 (2)	郵送調査法、電話調査法など		
12. データの整理 (1)	調査票の点検、コーディング		
13. データの整理 (2)	結果の分析		
14. 報告書の作成 (1)	報告書概観		
15. 報告書の作成 (2)	調査全体の考察		